



とちぎマイスター「機械検査（機械検査作業）」技能の例

「三次元測定機の開発業務を 35 年」

さとう よしひろ
佐藤 好弘 壬生町 在住

株式会社ミットヨ 研究開発本部 MC商品開発部 (Tel 028-656-1111)

高精度の三次元測定機の低価格化を図り、生産現場への普及・促進に貢献

(現在の仕事)

三次元測定機の開発を行っているほか、社内の技能開発センター（栃木県認定）の講師、技能検定試験の検定委員を行っている。

(得意な分野)

機械の設計業務（機構の設計と図面作成、試作、実験の実施等）を行っており、各種部品に求める精度や加工方法を選定。最先端産業のためにより高精度に、産業全般のためにより低価格化を図るため、常に技術情報に目を向けながら業務を遂行している。

機械計測の産業における重要性

製品の加工精度を向上するためには正確な計測、評価が欠かせません。

計測の精度向上は、より良いモノ作りのための基本であり産業発展の要です。そのため日頃より品質向上の意識を持ち続けていることが大切だと思います。

それは自身の職場だけでなく、その後続く関連部署に少なからず影響を及ぼすものと考えられます。

MADE IN TOCHIGI、MADE IN JAPAN の品質をさらに向上することが、今後日本がより発展し世界の中で生き残るために重要であると思います。

